

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・R1年度)

① 基本 事項	計画コード		事業名		部名	産業建設部	
	17020		地域生活交通再編事業		課名	産業振興課 商工業・地域交通G	
	施策の大綱 基本施策 施策の方向 戦略プロジェクト	01:快適さを支える生活基盤の向上			財務科目	会計	01:一般会計
		05:公共交通網の充実				款	07:商工費
		01:地域公共交通の連携強化を活用した交通ネットワークの強化				項	01:商工費
		03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト				目	01:商工総務費
事業予定期間		H 19 ～ R - 年度	主な根拠法令要綱等		道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律		

② 目的・概要	対象	自家用車に乗車(同乗)するなど、自立した移動手段を持たない人
	目的	自立した移動手段を持たない人などの移動手段の確保や社会参加の促進をはじめ、市内公共施設等への公共交通アクセスを確保することを目的とする。
	概要	現行の広域廃止代替路線(2路線)及びコミュニティ系路線(6路線)を継続運行させる中で、亀山市地域公共交通計画に基づく市内バス路線の再編を行う。また、バス等による効率的・効果的な運行及び新たな交通手段を検討した上で、総合的な公共交通計画を策定し、その計画に基づき市内バス路線等の再編を進める。

③ 事業の計画・実績	年度計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		○1路線(西部Aルート)の路線再編 ○総合的な亀山市地域公共交通計画の策定 ○亀山市地域公共交通会議の開催等 ○広域廃止代替路線2路線の運行 ・亀山みずほ台線・亀山棕本線 ○コミュニティ系路線6路線の運行 ・さわやか号、野登・白川ルート(事前予約制施設送迎サービスを含む)、東部ルート、南部ルート、西部Aルート、加太地区福祉バス		○総合的な亀山市地域公共交通計画に基づく路線再編(乗合タクシーの運行) ○亀山市地域公共交通会議の開催等 ○広域廃止代替路線2路線の運行 ・亀山みずほ台線、亀山棕本線 ○コミュニティ系路線6路線の運行 ・さわやか号、野登・白川ルート、東部ルート、南部ルート、西部Aルート、加太地区福祉バス		○総合的な亀山市地域公共交通計画に基づく1路線の路線再編及び運賃見直し ○亀山市地域公共交通会議の開催等 ○広域廃止代替路線2路線の運行 ・亀山みずほ台線、亀山棕本線 ○コミュニティ系路線6路線の運行 ・さわやか号、野登・白川ルート、東部ルート、南部ルート、西部Aルート、加太地区福祉バス ○乗合タクシーの運行	
	年度実績	・新亀山市地域公共交通計画(網形成計画)の策定 ・西部ルートの路線再編 ・廃止代替路線2路線及びコミュニティ系路線6路線(さわやか号、野登・白川ルート、東部ルート、南部ルート、西部ルート、加太福祉バス)の継続運行 ・亀山市地域公共交通会議の開催等		○乗合タクシーの運行開始(H30.10.1～) ○亀山市地域公共交通会議の開催等 ○広域廃止代替路線2路線の運行 ・亀山みずほ台線、亀山棕本線 ○コミュニティ系路線6路線の運行 ・さわやか号、野登・白川ルート、東部ルート、南部ルート、西部Aルート、加太地区福祉バス			
		事業費		事業費		事業費	
	計画額	事業費	114,900千円	事業費	111,800千円	事業費	111,800千円
		国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	
		県支出金		県支出金		県支出金	
		地方債		地方債		地方債	
		その他	8,200千円	その他	8,600千円	その他	8,800千円
	予算額	一般財源	106,700千円	一般財源	103,200千円	一般財源	103,000千円
		事業費	107,682千円	事業費	111,912千円	事業費	
		国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	
		県支出金		県支出金		県支出金	
		地方債		地方債		地方債	
	決算額	その他	8,240千円	その他	8,394千円	その他	
		一般財源	99,442千円	一般財源	103,518千円	一般財源	0千円
		事業費 ①	107,178千円	事業費	111,586千円	事業費	
		国庫支出金		国庫支出金	250千円	国庫支出金	
		県支出金		県支出金		県支出金	
	人件費	地方債		地方債		地方債	
		その他	8,450千円	その他	8,607千円	その他	
		一般財源	98,728千円	一般財源	102,729千円	一般財源	0千円
		総人件費 ②	9,215千円	総人件費	9,340千円	総人件費	
		一般職員	9,215千円	一般職員	9,340千円	一般職員	
	総コスト(①+②)	所要人員	1.20	所要人員	1.20	所要人員	
		臨時職員等	0千円	臨時職員等	0千円	臨時職員等	
		総コスト(①+②)	116,393千円	総コスト(①+②)	120,926千円	総コスト(①+②)	
	受益者負担率		7.3%	受益者負担率		0%	

					平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	再編路線数(乗合タクシーを含む)	活動	計画値	1	2	3
			再編を行った路線数の累計		実績値	1	2	
					単位	路線	路線	路線
	②	名称	再編路線の利用者数(乗合タクシーを含む)	成果	計画値	400	1,400	2,000
			再編を行った路線の利用者の増加人数(平成27度比)		実績値	△1,708	△1,804	
					単位	人	人	人
	③	名称			計画値			
					実績値			
					単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 幹線的バス及び地域生活バスは、今後も継続して利用促進活動に努め、現在のサービス水準の維持及び利用者を確保する。また、市内の公共交通不便地域の解消及び今後増加が見込まれる運転免許証返納者への対策として、鉄道・バスを補完する新たな公共交通として、市内全域での乗合タクシー事業を展開する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 幹線的バス及び地域生活バスは、利用促進活動に努め、現在のサービス水準の維持及び利用者を確保した。平成30年10月1日から、鉄道・バス・一般タクシーといった既存の公共交通に加え、「新たな交通手段」として、市内全域での乗合タクシーの運行を開始した。

評価			(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 亀山市地域公共交通計画に基づき、平成30年10月から市内全域での乗合タクシーの運行を開始した。また、地域まちづくり協議会と連携し、市内に約270か所の地域停留所を設置した。既存バス路線については、運行事業を継続し、移動困難者の日常生活における移動性の確保に努めることができた。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 コミュニティバス利用者は減少しているものの、市内バス路線全体としての利用者は前年度より増加している。平成30年10月に運行開始した乗合タクシーについては、運行開始後半年間の利用は低調であり、今後も継続して利用促進を図る必要があるが、市内全域で利用可能な交通手段が整備されたことから、地域公共交通の環境整備は充実した。	B まずまず成果を得た

⑦今後の対応方針	課題	【課題は何か】 幹線的バス・コミュニティバスともに継続・維持するとともに、野登白川自主運行バスの再編協議を進める。(計画スケジュールから遅延) 乗合タクシーの運行を開始したが、利用者が低調である。 現在の多様なバス運賃体系を各路線の機能に合わせた適正な運賃体系に再整理する必要がある。	今後の方向性	☐ 拡大
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 地域まちづくり協議会との情報共有や連携により利用促進活動に努めるとともに、隣接市とも広域的な連携に向けて協議する。 野登・白川地区自主運行バスの路線再編に向けた協議を早急に実施する。 乗合タクシー制度の一部見直しや利用促進策(無料体験乗車券配布)を実施する。 鉄道や幹線的バス路線等とも整合を図りながら、コミュニティバス運賃改定に取り組む。		☒ 現状維持
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 乗合タクシーの定着が図れる。 当市に係る全ての地域公共交通が一体となって機能する公共交通ネットワークの形成につながる。		☐ 縮小
	対応時期	令和元年度		☐ 廃止
				☐ その他
				【その他の場合、その内容を記載】

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 青山 有希
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B			
	成果	B	B			